

サルトリイバラ (猿獲り茨)

名前の意味：刺いみ とげがあることから、猿ざるが引っかかって、捕とらえられるという意味。

分類：単子葉類、ユリ科、サルトリイバラ属

(ユリ科の栽培植物さいばいしょくぶつ：アスパラガス、ネギ、タマネギ、ニラ、チューリップ)

好きな場所：日当たりのよい林の縁

分布：北海道、本州、四国、九州

原産地：昔から日本に生えていた (自生じせい)

特徴：刺とげのある丈夫じょうぶなつる、丸くてつやつやの葉、赤くて丸い実

種子の運ばれかた：鳥に食べられて運ばれる

花弁の数：離弁りべん、6枚

花の時期：4—5月

食べ方：食べられないが、柏餅かしわもちを包むつつ柏かしわの葉のかわりにする地方ちほうがある

見分け方：シオデは、葉やわが柔らかくて楕円形だえんけい。

見つけやすさ ★★★

見分けやすさ ★★

総合難易度そうごうなんいど ★★

(★が多いほど量が少なく、見分けにくく、難易度が高い)